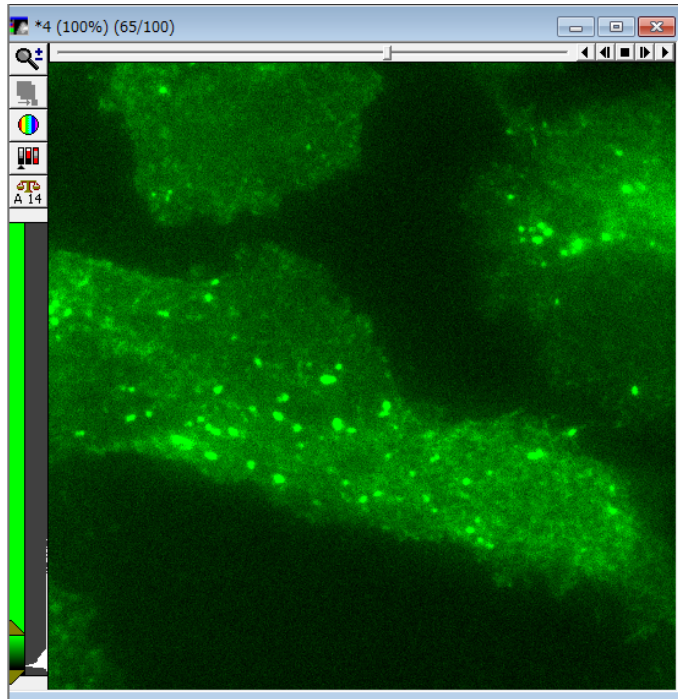


Safir の使用方法

例題として下記画像を処理します。



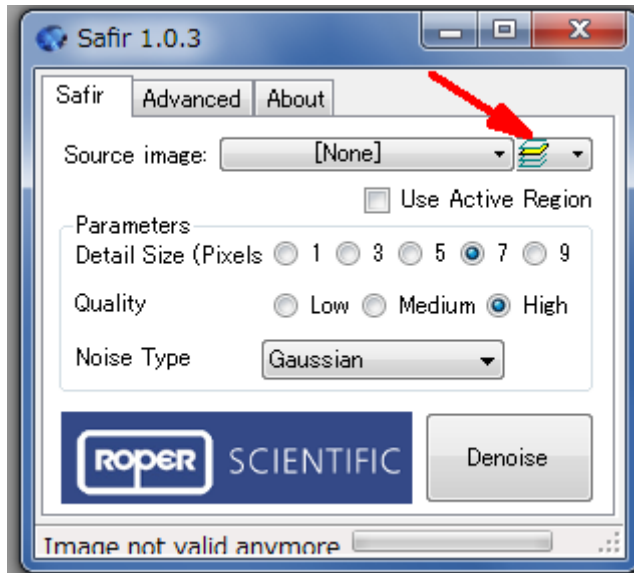
Safir をインストール後、MetaMorph の Admin→Drop-in から Run user program の Drop-in を必ず有効にしてください。

- ☐ optigrid
- ☒ overfluo
- ☐ overlay
- ☒ pair
- ☒ pickpt
- ☒ propmgr
- ☒ ratio
- ☒ rgenseq
- ☒ runuser
- ☒ saveloop
- ☒ scanslide
- ☐ segimage
- ☒ segments
- ☒ selrgn
- ☒ setzoom

runuser を有効にしていなくても、デスクトップのショートカットにある Safir のショートカットアイコンからアプリケーションは起動、動作はしますが、肝心のデノイズ処理が全く実行されません（処理後の画像も元画像と不変）

MetaMorph を起動後に Safir を起動させます

画像処理対象のデータに応じて使い分けますが、一度起動すれば、対象 Stack ファイルの性質が変わった場合、Stack Selector を変更するだけで OK です



通常は

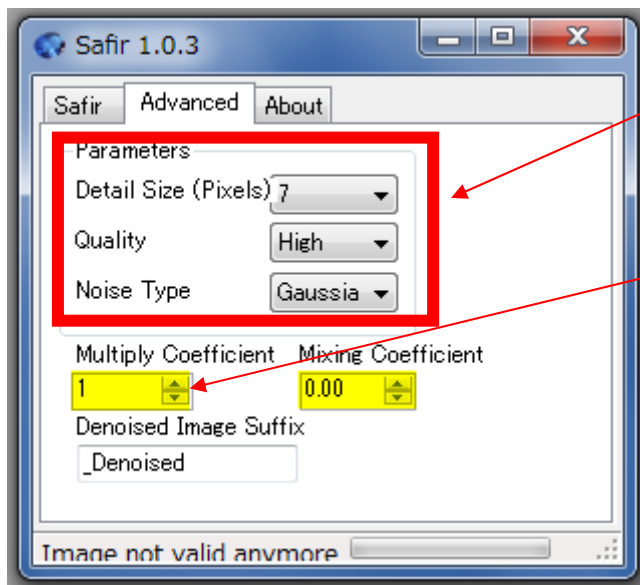
Detail Size : 7 もしくは 9

Quality : 処理速度と確認 できれば High

Noise Type : Gaussian

になります。

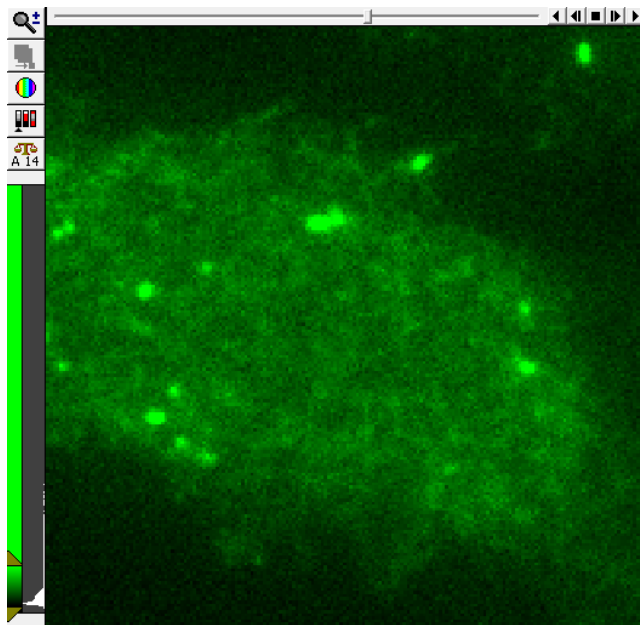
次に Advanced のタブをクリックします



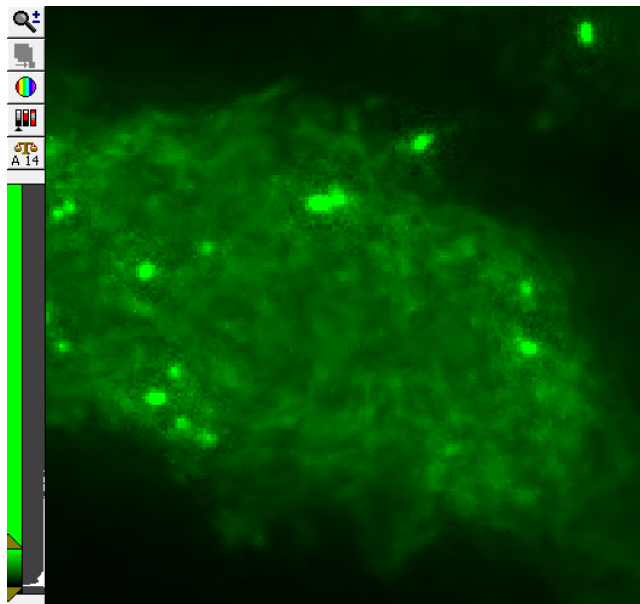
Safir のタブの設定と連動しています

処理後の輝度の底上げ（乗算）を行います。輝度定量を求める場合は注意してください

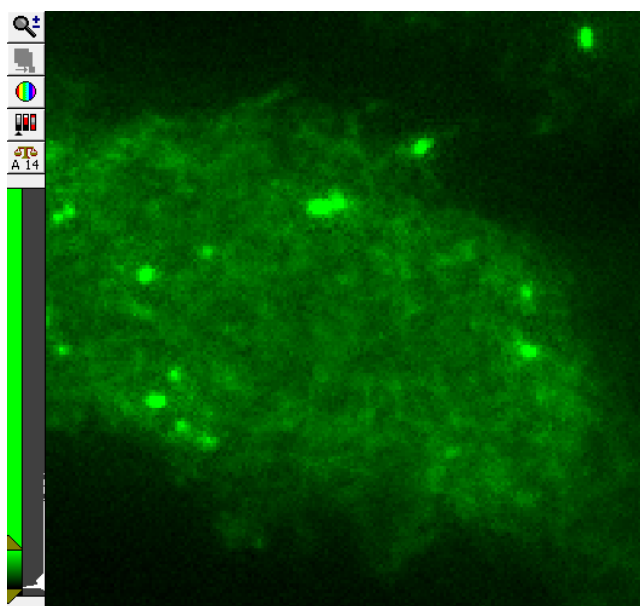
Denoise 処理の有効具合を左右します
0.00 (Denoise 強) < 0.50 (Denoise 弱)
となります。
最初はず、0.00 から実行してみてください。



元画像



Mixing Coefficient 0.00



Mixing Coefficient 0.50